

#### 4 令和6年度各支部の活動状況（中央ブロック）

##### 水戸市

###### 1 令和6年度研究主題

- 一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進

###### 2 事業内容

- (1) 市特別支援教育研究部第1回部員研修会 [書面確認]
- (2) 市教育研究発表大会 8月2日(金) [場所：ケーズデンキスタジアム]  
発表校 三の丸小学校、第三中学校
- (3) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会  
8月8日(金) [オンライン]  
講演「発達障害児の社会性を育む支援の在り方」  
講師 小島 道生 先生(筑波大学人間系教授)
- (4) ナイスハートふれあいフェスティバル2024  
12月5日(木)～9日(月) [場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (5) 市特別支援教育研究部第2回部員研修会 3月13日(木)  
[場所：水戸市立河和田小学校]

###### 3 今年度の成果

- 参集型での協議において、各学校の特別支援教育の現状や課題を共有し、自立的活動や合理的配慮などについて理解を深めることができた。
- オンラインでの中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会には、多くの教員が参加することができた。
- ナイスハートふれあいフェスティバル2024では、多くの作品を展示して鑑賞していただいたことにより、児童生徒の意欲の向上につながった。地の利を生かし、それぞれの学校が搬入搬出を行うことで、フェスティバルの意義や運営についての理解が深まった。

##### 笠間市

###### 1 笠間市教育研究会特別支援教育研究部 令和6年度運営方針

- 特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒が自己の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加ができるよう、一人一人の「生きる力」を培うための教育の充実を図る。

###### 2 事業内容

- (1) 第1回市教研特別支援教育研究部研究協議会 5月16日(木) [文書開催]
- (2) 第2回市教研特別支援教育研究部研究協議会並びに研修会  
8月8日(木) [場所：岩間公民館]  
講演 「配慮を要する子への個別指導と授業づくり」  
講師 山梨県甲府市立国母小学校 武井 恒 先生
- (3) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者部研修会  
8月8日(木) [オンライン]  
講演 「発達障害児の社会性を育む支援の在り方」  
講師 筑波大学人間系教授 小島 道生 先生
- (4) 手をつなぐ子らの作品展  
11月23日(土)～24日(日) [場所：茨城県陶芸美術館県民ギャラリー]

※市美術展覧会と共催、友部特別支援学校・友部東特別支援学校も参加

(5) ナイスハートふれあいフェスティバル2024

12月 5日(木)～ 9日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]

(6) 第3回市教研特別支援教育研究部研究協議会 2月4日(火) [場所:稲田中]

3 今年度の成果

- 夏の研修会では、武井先生を講師に配慮を要する子への関わり方についての研修を行った。配慮を要する子が、なぜそのような行動をするのか、どのような支援が効果的なのか、手作り教具の実物に触らせていただいたり、動画を見せていただいたりし、大変勉強になった。「熱心な無理解者」ではいけない、という言葉が印象に残った。
- 手をつなぐ子らの作品展を市教研児童生徒美術展覧会と共催した。友部特別支援学校と友部東特別支援学校の児童生徒も出品し、手をつなぐ子らの作品だけで359人が出品し、3,000人の来場者があった。
- 近年、特別支援学級に在籍する児童生徒が増加している。特別支援学級の担任が初めて、または2年目、という教員が特別支援学級担当全体の半分を占め、研修の必要性を感じている。研修会をもつ際には、部員にとどまらず市内の教職員に呼びかけ、特別支援への理解を深めていきたい。

**ひたちなか市**

1 令和6年度 研究目標等

(1) 令和6年度研究目標

特別支援教育における一人一人に即した支援・指導の在り方

(2) 令和6年度努力点・工夫改善点

- ・一人一人の児童生徒のニーズに応じた支援・指導の工夫
- ・個々のキャリアステージに応じた各種研修会に参加し、研鑽を積む

2 事業内容

(1) 第1回特別支援教育研究部員会 5月9日(木) [場所:ひたちなか市立外野小学校]

(2) 小学校・義務教育学校前期課程合同校外学習下見 廃止

(3) 小学校・義務教育学校前期課程合同校外学習担当者会 廃止

(4) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習 廃止

(5) 市教育研究会夏季研究発表会(重点) 8月2日(金)

発表校 三反田小・勝田二中 [場所:美乃浜学園/オンライン]

(6) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会

8月8日(木) [担当 ひたちなか市]

(7) 集合指導訪問

- ・【勝田第二中学校】 11月20日(水) (市内参加指定校が参加)
- ・【長堀小学校】 11月28日(木) (市内参加指定校が参加)

(8) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習下見 廃止

(9) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習担当者会 廃止

(10) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習 廃止

(11) 手をつなぐ子らの作品展(市芸術祭)

11月13日(水)～17日(日) [場所:松戸体育館]

(12) ナイスハートふれあいフェスティバル2024

12月5日(木)～9日(月) [場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館]

(13) 第2回特別支援教育研究部員会 1月21日(火) [書面開催]

(14) 市特別支援教育研究部研修会および第3回特別支援教育研究部員会  
2月26日(水) [オンライン]

講師 東京成徳大学・特任教授・博士 石隈 利紀 氏

テーマ 「特性のある児童・生徒の通常の学級における支援の在り方 ～学校心理学の視点を踏まえて～」

### 3 本年度の成果及び課題

○市内小・中学校において、集合指導訪問(小1中1)が実施されたことで、市内の取組を共有することができた。

○合同校外学習については、学校の状況等を鑑みて廃止とした。

○市や県の作品展では参加希望校が出展し、子供たちにとって発表の場となった。しかし年々作品展参加校が減少しているため、役割分担(作品展担当)を配慮する必要がある。

○研修会をオンラインとしたことで、多くの教員が参加することができた。

## 常陸大宮市

### 1 研究主題

○自主性・自立性を育む校内支援体制の在り方と担当者の専門性の向上

### 2 事業内容

(1) 市特別支援教育研究部第1回部員研修会

期日 令和6年4月26日(金) [場所：明峰中学校]

(2) 手をつなぐ子らの「こんにちはの会」 5月 [場所：各学校]

(3) 令和6年度中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会

期日 令和6年8月8日(木) [オンライン]

講演「発達障害児の社会性を育む支援の在り方」

講師 筑波大学人間系 教授 小島 道生 先生

(4) 市特別支援教育研究部第2回部員研修会

期日 令和6年8月22日(木) [場所：くりえーとセンター大宮]

講演「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援について」

講師 常陸大宮市教育委員会 指導主事 大内 裕貴 先生

(5) 令和6年度 特別支援教育に係る学校訪問(集合指導訪問)

期日 令和6年11月14日(木)

○授業参観 大子町立生瀬中学校 教諭 小池 哲哉

自閉症・情緒障害特別支援学級 自立活動「相手や目的を意識して話そう」

○グループ協議①

「特別支援学級等における自立活動の指導(自立活動と関連を図った各教科等の指導)の授業実践・授業改善について」

グループ協議②

「適切な学びの場の検討に至る段階的なプロセスの進め方 ～校内委員会の在り方を中心に～」

○指導助言 講師：茨城県水戸教育事務所学校教育課 指導主事 海老原 靖志先生

- (6) ナイスハートふれあいフェスティバル 2024 美術展  
期日 令和6年12月5日(木)～9日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (7) 手をつなぐ子らの「お別れの会」 2月 [場所:各学校]

### 3 今年度の成果

- 特別支援教育研究部員は、年々増加する傾向にあり、特に若手の教員が特別支援学級の担任になるケースが増えている。そのため、悩みを一人で抱え込まないように、第1回部員研修会の際にアンケートを実施している。特別支援担任として困っていることや知りたいことについて情報を収集し、研修会に生かしている。
- 研修会については、中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会がオンライン研修であったことで多くの教員が参加することができた。また、市特別支援教育研究部第2回部員研修会においては、講話とグループ協議を2部構成にしたことで、有意義な情報交換の場になった。
- ナイスハートふれあいフェスティバルは、美術展のみ参加とし、搬入・搬出等の役割分担を明確にしたことで、負担の軽減につながった。

## 那珂市

### 1 令和6年度研究テーマ

「一人一人のニーズに応じた合理的配慮に基づく支援の在り方」

### 2 事業内容

- (1) 第1回研究部員研修会 4月25日(木) [場所:那珂市立瓜連小学校]  
研究組織、研究テーマ、研究計画作成
- (2) 小学校校外学習 7月12日(金) B班(4校)大洗方面
- (3) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会  
8月8日(木) [オンライン開催]  
講話「発達障害児の社会性を育む支援の在り方」  
講師 筑波大学教授 小島 道生 先生
- (4) ひまわり集会 10月～12月 各学園で実施(制作活動、交流活動)
- (5) 手をつなぐ子らの作品展 11月1日(金)～3日(日)  
[場所:那珂市総合センターらぼーる]
- (6) ナイスハートふれあいフェスティバル 2024 美術作品展出品  
12月5日(木)～9日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (7) 市特別支援教育に係る研修会 1月30日(金) [場所:市中央公民館]  
講話「自立活動の理論と実際」  
講師 茨城大学講師 石田 修 先生

### 3 今年度の成果

- 小学校の校外学習は児童の実態や天候を考慮して、当初の予定から方面を変更して実施した。来年度以降も担当者の話し合いをし、児童生徒の体験と交流の機会や学びを紹介する場をもつことができるよう安全に実施していきたい。
- 多くの研修会への参加を通して、部員の資質向上と専門性を高めることができ、指導力の向上につながった。
- 手をつなぐ子らの作品展やナイスハートふれあいフェスティバル 2024 の作品展では、多くの作品を展示して鑑賞していただいたことにより、児童生徒の意欲の向上につなが

っている。

- 昨年度から、特別支援教育に係る研修会を市教育委員会と共催している。講師の先生の手配や事前準備等で市と協力して実施できたことにより、部員の先生方の負担軽減にもつながっている。

## 小 美 玉 市

### 1 研究主題

- 一人一人の豊かな人間性をはぐくむ特別支援の在り方

### 2 事業内容

#### (1) 市特別支援教育研究部 第1回研修会

5月2日(月) [場所:小川総合支所]

- 「特別支援教育における教育課程編成届」「時間割表」等の作成について  
講師:水戸教育事務所 学校教育課 指導主事 海老原 靖志 先生
- 「個別の指導計画、支援計画の作成について」  
講師:小美玉市教育委員会教育指導課 副参事 市村 小枝子 先生

#### (2) 令和6年度中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会

8月18日(木) [オンライン参加]

- 「発達障害児の社会性を育む支援の在り方」  
講師 筑波大学人間系教授 小島 道夫 先生

#### (3) ナイスハートふれあいフェスティバル

12月5日(木)～9日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]

#### (4) 市特別支援教育研究部 第2回研修会

1月21日(火) [場所:小川総合支所]

- 「リタリコ教育ソフトについて」  
株式会社 L I T A L I C O (りたりこ) 佐藤 愛奈 様  
繁原 右京 様
- 「就学支援検査書の書き方について」  
小美玉市教育委員会教育指導課 副参事 市村 小枝子 先生  
教育相談員 長谷川 美智子 先生
- 「個別の支援計画等の改善点についての意見交換」

### 3 今年度の成果

- 「個別の教育支援計画・指導計画及び指導要録補助簿」の作成について研修を行い、記入の仕方等について共通理解を図ることができた。年度の早いうちに研修を行うことで、初めて支援学級を担当する教職員にも役立つ研修となった。
- ナイスハートふれあいフェスティバル 2024 に多くの学校が参加できた。昨年度決定した当番校が搬入と搬出を行うことで、部員の負担軽減につながった。
- 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会に多くの先生方が参加した。部員の先生方の有意義な研修の場となった。
- リタリコ教育ソフトについて、タブレットで実際の画面を操作しながら研修を行った。児童生徒の実態に合わせ、今後の教育活動に活用できる内容となった。

## 東 茨 城 郡

## 1 研究主題

- 一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進

## 2 主な事業内容

### (1) 三町研究部長会

第1回(6月) 活動内容確認

第2回(2月) 今年度の反省、次年度の目標・計画案の作成

### (2) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会 8月8日 [オンライン]

### (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2024 12月5日～9日 [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]

※ 郡内全校美術展に参加

### (4) 各町教育研究会特別支援教育研究部の取組

茨城町 ・部員研修会

・町内支援学級合同体験学習…12月18日 [青葉小学校]

大洗町 ・部員研修会

・町内支援学級合同校外学習…10月31日 [アクアマリンふくしま]

城里町 ・部員研修会

・町内支援学級合同交流学习…今年度未実施

## 3 今年度の成果

- 各町の研究部において、研究テーマに基づいた研修を実施することで、一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方について資質・能力の向上を図ることができた。

- 小中合同の体験・校外学習を実施することで、特別支援学級在籍児童生徒の交流を深めることができた。

## 那珂郡

### 1 令和6年度 方針「自立と社会参加へ向けた特別支援教育の推進」

### 2 事業内容

#### (1) 第1回郡教研特別支援教育部員会 4月15日(月) [東海村立東海中学校]

・年間計画について ・研修会について ・合同学習会について

#### (2) 村特別支援教育担当者研修会 4月24日(水) [村総合支援センター なごみ]

・講義「特別支援学級における教育課程編成の在り方と授業づくり」

・講師:海老原 靖志 氏(水戸教育事務所学校教育課 指導主事)

#### (3) 第2回郡教研特別支援教育部員会 6月19日(水) [東海村立中丸小学校]

・合同学習会について ・ナイスハートふれあいフェスティバルについて

・村文化祭について

#### (4) 小学校合同学習会 7月10日(水) 午前中 [東海村立図書館及び歴史と未来の交流館]

・図書館体験 ・読み聞かせ ・歴史体験など

#### (5) 村小中特別支援教育担当者研修会 8月22日(木) [石神コミュニティセンター]

##### 第1部 発達支援ネットワーク会議

講話「関係機関との連携の在り方」

講師:石田 隆雄 氏(村子ども発達支援センターカウンセラー)

##### 第2部 特別支援教育推進体制事業について

講師:山崎 修 氏(東海村教育委員会指導室 指導主事)

- (6) 第3回郡教研特別支援教育部員会 9月27日(金) [東海村立中丸小学校]
  - ・合同学習会の反省
  - ・村文化祭(搬入・搬出)について
  - ・手をつなぐ子らの作品展について
  - ・ナイスハートふれあいフェスティバル(搬入・搬出)について
- (7) 手をつなぐ子らの作品展 11月2日(土)～4日(日) [東海村総合体育館]
- (8) ナイスハートふれあいフェスティバル2024 12月5日(木)～9日(月)
  - (展示部門参加) [場所: ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (9) 第4回市教研特別支援教育部員会及び研修会 2月19日(水) [東海村立中丸小学校]
  - ・研修会 「特別支援教育推進体制事業の実施について」
  - 講師: 山崎 修 氏(東海村教育委員会指導室 指導主事) [東海村立中丸小学校]
  - ・今年度の振り返りについて
  - ・次年度計画について
  - ・引き継ぎについて

### 3 今年度の成果

- 手をつなぐ子らの作品展では、児童生徒が工夫を凝らし、自分で制作した作品を村内で展示公開することで、達成感、自己肯定感を高めることができた。作品展等の準備作業を通して、郡内全ての学校の特別支援教育部員が、各校の作品見たり、作成時の工夫を聞いたりすることで、今後の教材開発に役立てる情報交流ができた。
- 発達支援ネットワーク会議を実施し、村内の関係相談機関を知ることにより、校内の相談体制の充実を図ることができた。児童生徒のよりよい成長を目指し、学校と家庭、関係機関が連携していく意識を高めることができた。

## 久慈郡大子町

### 1 研究主題

- (1) 研究テーマ「一人一人の持つよさを伸ばし、「生きる力」を培う指導の在り方」
- (2) 努力点
  - ・一人一人の教育的ニーズに対応した支援及び連携の在り方
  - ・個別の指導計画に基づいた指導方法の工夫と個別の支援計画の作成

### 2 事業内容

- (1) 大子町教育研究会特別支援教育研究部指導法研修会(事業計画) 4月17日(水)
  - [場所: 大子町立生瀬小学校]
- (2) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会 8月8日(木) [オンライン]
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2024 12月5日(木)～9日(月)
  - [場所: ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (4) 大子町教育美術展 1月28日(火)～2月3日(月) [場所: 中央公民館]
- (5) 大子町教育研究会特別支援教育研究部研修会(事業反省) 2月 [文書開催]

### 3 今年度の成果

- ナイスハートふれあいフェスティバルおよび町教育美術展に作品を展示し、多くの方に見ていただく機会を得たことで、児童生徒の意欲を高めることができた。